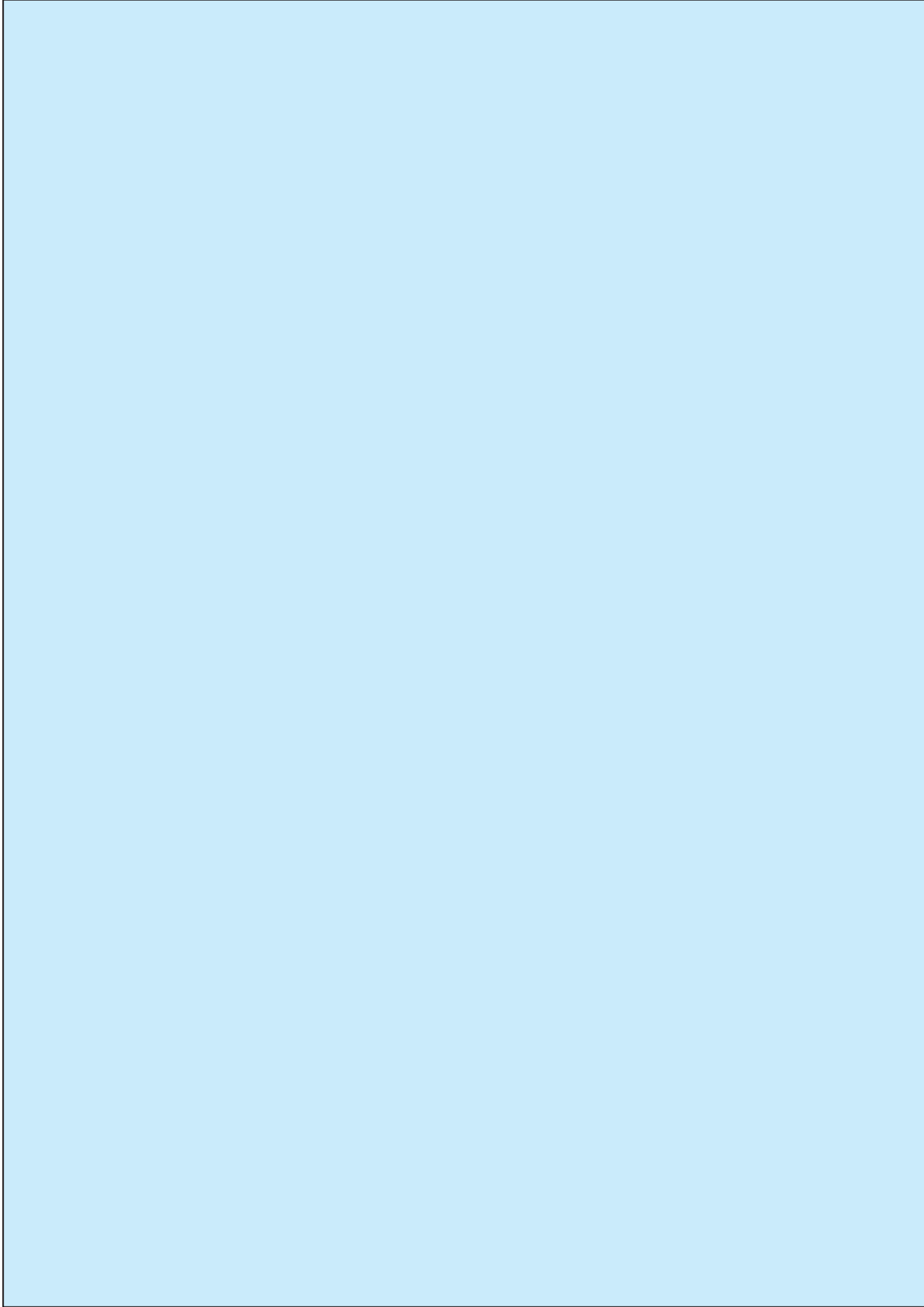


事業概要



1. 組織と業務

(平成23年3月31日現在)

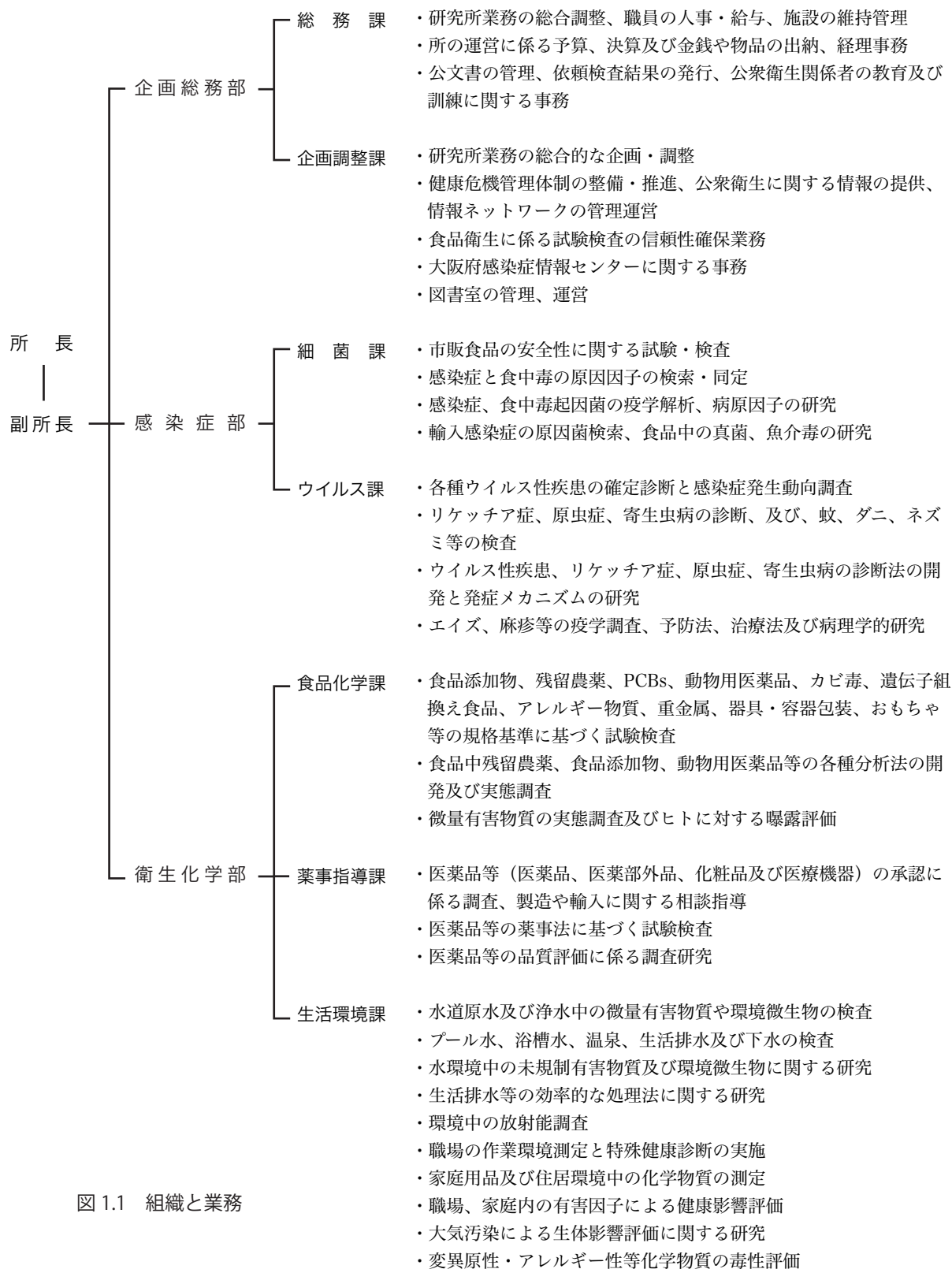


図 1.1 組織と業務

表 1.1 部課別・職種別現員表

(平成23年3月31日現在)

職 種		一	医	薬	獣	化	農	生	臨	食	環	電	機	自	電	汽	医	研	合	
部 課		般	師	学	医	学	芸	物	床	品	境	気	械	動	話	缶	療	究	計	
		事	務	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
		務	師	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学	学
所 長			1																	1
副 所 長			1																	1
企画 総務部	総 務 課	8										1	1	1	4	1				16
	企画調整課	2			1	1		1		1	1									7
感染症 部	細 菌 課				12				1								2	1		16
	ウイルス課		1	1	9			1	2								5			19
衛生 化学部	食品化学課			15			4													19
	薬事指導課			9																9
	生活環境課			13		1	1	1	2											18
合 計		10	3	38	22	2	5	3	5	1	1	1	1	1	4	1	7	1		106

注

- (1) 感染症部長（兼務）は副所長の項に掲出 企画総務部長、衛生化学部長は、それぞれ総務課、食品化学課の項に掲出
- (2) 一般事務の職名は事務職員、他は技術職員である
- (3) 行政職は、一般事務、食品衛生監視員、環境衛生指導員、医療機器操作手、研究補助、総務課の他の職種、企画調整課の化学である
- (4) 研究職は、(3)以外の職種である

2. 施設の状況及び庁舎の維持管理

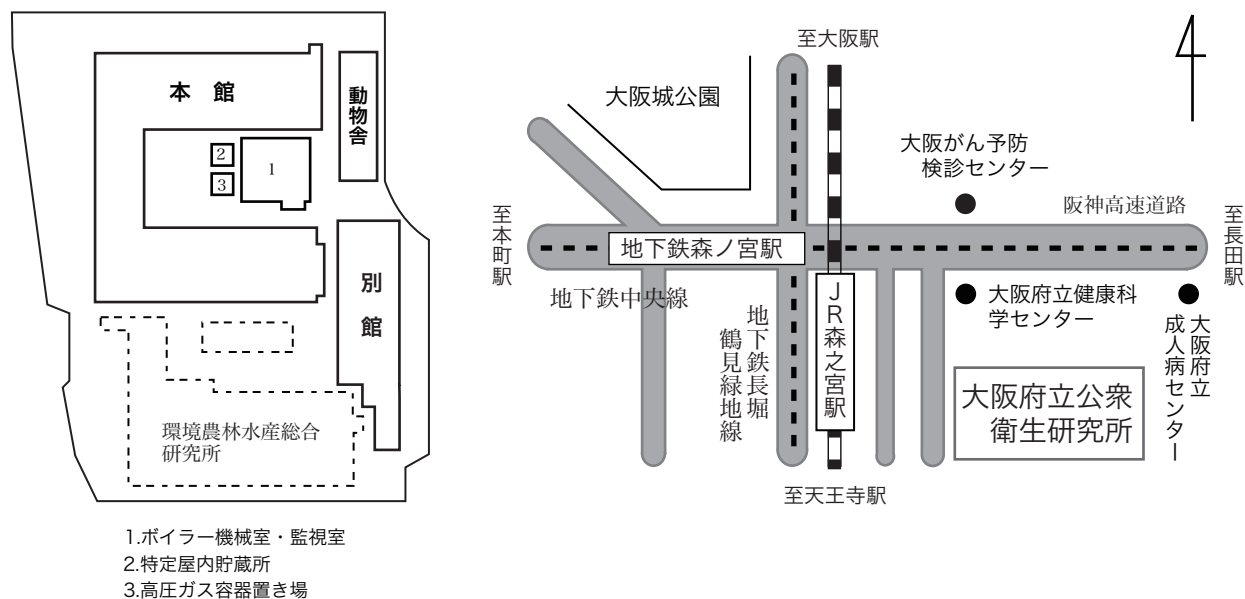


図 1.2 建物の配置および付近の見取図

表 1.2 建物の概要

(平成23年3月31日現在)

名 称	構 造	建面積 (m ²)	延面積 (m ²)	備 考
本 館	鉄筋コンクリート造4階建	1,660.29	6,867.52	S34.12竣工 S37.2 増築
別 館	鉄筋コンクリート造6階建	643.25	4,272.18	S49.10竣工
ボイラー機械室	鉄筋コンクリート平屋建	233.27	260.97	S49.10竣工
動 物 舎	鉄筋コンクリート2階建	202.50	405.05	S45.3 竣工
ボイラー監視室	軽量鉄骨造平屋建	9.69	9.69	S51.2 竣工
特定屋内貯蔵所	鉄筋コンクリート平屋建	8.99	8.99	H4.3 竣工
高圧ガス容器置場	鉄筋コンクリート平屋建	8.25	8.25	H20.2 竣工
合 計 (m ²)		2,766.24	11,832.65	敷地 5,790.91

3. 歳入及び歳出

表 1.3 歳入決算

科 目	決 算 額 (円)
総 額	69,161,647
使用料及び手数料	27,110,540
国庫支出金	15,832,093
諸 収 入	26,219,014

表 1.4 歳出決算

科 目	決 算 額 (円)
総 額	1,015,162,709
公衆衛生総務費	691,745,815
報 酬	2,548,080
給 料	413,871,162
職 員 手 当	274,281,537
共 済 費	659,216
旅 費	226,140
使用料及び賃借料	159,680
衛生研究所費	223,796,663
報 酬	4,088,640
共 済 費	567,107
賃 金	4,052,349
報 償 費	189,600
旅 費	3,207,966
需 用 費	86,081,458
役 務 費	1,479,107
委 託 料	52,648,439
使用料及び賃借料	40,165,398
工事請負費	565,796
備品購入費	29,592,990
負担金、補助及び交付金	1,157,813
総務管理費（一般管理費）	3,843,580
公衆衛生費（予防費）	18,409,619
環境衛生費（食品衛生費等）	63,670,767
医薬費（薬務費）	13,297,643
水産業費（水産業振興費）	368,571
環境保全費（環境保全対策費）	30,051

4. 所内委員会の運営

表 1.5 所内委員会一覧

委員会	委員長・議長	委員	備考
緊急対策特別委員会	織田 肇	15名	所外学識経験者2、地域代表者8、所内委員5
病原体等取扱安全管理委員会	織田 肇	11名	所外学識経験者5、地域代表者1、所内委員5
組換えDNA実験安全委員会	織田 肇	9名	所外学識経験者3、所内委員6
調査研究評価委員会（感染症部門）		5名	所外学識経験者5
調査研究評価委員会（食品医薬品部門）		4名	所外学識経験者4
調査研究評価委員会（生活環境部門）		4名	所外学識経験者4
倫理審査委員会	赤阪 進	6名	所外学識経験者3、所内委員3
安全衛生委員会	織田 肇	17名	労働安全衛生法（昭和47年法57）及び大阪府職員安全衛生管理規程（昭和55年訓職140）による安全衛生管理に関する委員会
感染症防止対策委員会	高橋和郎	8名	
病原体等取扱安全管理運営委員会	高橋和郎	12名	
動物実験委員会	加瀬哲男	9名	
ECD運営委員会	足立伸一	5名	放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（昭和32年法167第21条）による管理運営の組織
バイオサイエンス委員会	高橋和郎	7名	
公衆衛生情報委員会	木村明生	8名	
図書運営協議会	尾花裕孝	9名	
研究発表会運営委員会	田口修三	8名	
所報編集委員会	久米田裕子	8名	
化学安全実験室運営委員会	足立伸一	4名	
備品委員会	高橋和郎	8名	
公衛研ニュース編集委員会	岡村俊男	6名	

5. 研究備品の整備状況

表 1.6 新たに取得した主要研究備品

備 品 名	型 式
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド CHEF-DRⅢシステム
高速液体クロマトグラフ	ウオーターズ Alliance他
窒素吹付高速平行濃縮装置	バイオタージ TurboVapⅡ
ゲルマニウム半導体核種分析装置	キャンベラジャパン GC2018他

6. 広報、見学、報道

表 1.7 インターネットによる情報発信

Webによる情報発信	研究所の紹介、研究活動、健康危機管理、トピックス等 【感染症情報センター】 感染症発生動向調査（週報、月報、年報：事業報告書）、感染症ものしり講座、その他感染症関連情報
メールマガジンの配信	80号～91号を配信 定期購読者：約1,000名

表 1.8 公衛研ニュース

号数	発行日	タイトル	所属	著者
第43号	H22.10.27	食の安全・安心	衛生化学部	尾花裕孝
		大気中に存在する亜硝酸の生体影響	生活環境課	大山正幸

表 1.9 見学等の受入れ

年月日	担当課	区分	テーマ	見学者	人数
H22.4.12	細菌課 食品化学課	講義・見学	食品衛生監視員新規採用職員 研修	食の安全推進課新規 採用職員	10
H22.5.19～5.31	ウイルス課 生活環境課	講義・見学	新規採用職員技術研修	環境衛生課新規採用 職員他	12
H22.6.1～6.9	ウイルス課	講義・見学	HIV/AIDSについて	JICA研修生	14
H22.8.9	感染症部	講義・見学	講義、施設見学	ボーイスカウト隊	12
H22.8.4	細菌課	見学	食品安全衛生について	大学准教授 ベトナム保健省職員	6
H22.7.26	食品化学課	見学	食品によって引き起こされる アレルギーについて	高校生	3
H22.9.8	企画調整課	見学	施設見学	大学生	2
H22.9.28	食品化学課 薬事指導課	講義・見学	講義、施設見学	専門学校生	60
H22.9.29～9.30	細菌課	講義・見学	カビの検査について	JICA研修生	3
H22.10.28	細菌課	講義・見学	結核等感染症について	結核予防団体職員・ 研修生	11
H22.10.14	細菌課	見学	食品安全衛生について	大学准教授 ベトナム保健省職員	5
H22.10.26	食品化学課	見学	食品中の残留農薬に関する分 析業務について	中国農業科学院職員 他	4
H22.10.18～11.19	細菌課 食品化学課	講義・見学	食中毒菌・農薬の検査手法に ついて	高槻市保健所職員	4
H22.2.4	ウイルス課	講義・見学	微生物検査業務について	JICA研修生	19
H22.2.18	細菌課	見学	結核菌検査体制について	福岡県保健環境研究 所職員	2

表 1.10 新聞報道

掲載日	新聞社	取材内容	関係部署
H22.11.7	読売新聞	インフルエンザ要注意 混合ワクチン早めに接種	感染症部
H22.12.2	日本経済新聞	ノロウイルス 流行防げ 発症者急増、昨年の2～10倍	感染症部

表 1.11 電波報道

掲載日	放送局	取材内容	関係部署
H22.5.24	朝日放送	気をつけたい食中毒	細菌課
H22.5.26	毎日放送	麻痺性貝毒の検査について	細菌課
H22.6.8	関西テレビ	麻痺性貝毒の検査について	細菌課
H22.6.23	毎日放送	麻痺性貝毒の検査について	細菌課
H22.7.1	NHK	手足口病について	ウイルス課
H22.7.15	朝日放送	国内産農産物の残留農薬検査・分析について	食品化学課
H22.8.19	関西テレビ	麻痺性貝毒の検査について	細菌課
H22.10.21	読売テレビ	これからのインフルエンザについて	感染症部
H22.11.6	朝日放送	これからのインフルエンザについて	感染症部
H22.11.19	NHK	感染性胃腸炎の流行状況と予防について	感染症部
H22.11.26	テレビ朝日	セアカゴケグモの毒性成分について	企画調整課
H22.11.30	読売テレビ	これからのインフルエンザについて	感染症部
H22.12.1	朝日放送	インフルエンザの流行状況と予防について	感染症部
H22.12.9	ABCラジオ	感染性胃腸炎の流行状況と予防について	感染症部
H22.12.14	NHK	大阪府内のHIV感染者およびエイズ患者の報告数が過去最多になる予想	ウイルス課
H22.12.16	朝日放送	感染性胃腸炎の流行状況と予防について	感染症部
H23.1.13	NHK	インフルエンザの流行状況とその対応及び予防について	感染症部
H23.2.9	NHK	インフルエンザの流行状況と予防	感染症部
H23.3.17	NHK	福島第一原発事故に関連したモニタリングポスト検出器および監視装置について	生活環境課

7. 教育、研修

表 1.12 国内からの研修の受入れ

開始日	期間	担当部課	研修内容	研修者	人数
H22.4.15	7ヶ月	細菌課	結核の感染源調査について	学 生	3
H22.6.14	1ヶ月	生活環境課	クリプトスポリジウム・ジアル ジア検査	民間企業	1
H22.7.5	1ヶ月	食品化学課	保存料分析法	民間企業	1
H22.10.1	6ヶ月	生活環境課	クリプトスポリジウム等試験に 係る技術研修	民間企業	2

表 1.13 海外からの研修の受入れ

研修期間	担当部課	研修内容	派遣国	人数
該当なし				

表 1.14 研究職員の国際会議・学会等への派遣

所 属	研究者	期 間	学会名および国名
副所長兼 感染症部長	高橋和郎	H22.9.2～9.7	第7回インフルエンザ制圧のための国際会議 (中国)
企画調整課	木村明生	H22.10.26～ 10.29	第11回アジア太平洋人獣共通寄生虫症会議 (韓国)

表 1.15 大学等の講師

所 属	研究者	大学等教育機関名	期間	講義	回数
該当なし					

8. 試験実施件数

表 1.16 (1) 衛生検査実施件数

	依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
	住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
結核	分離・同定・検出		119	1	1	121	
	核酸検査		264	10	1	275	
	化学療法剤に対する耐性検査		79			79	
性病	梅毒						
	その他				774	774	
ウイルス・リケッチア等検査	分離・同定・検出	ウイルス	130	1,135	553	3,299	5,117
		リケッチア	1	187		1	189
		クラミジア・マイコプラズマ					
	抗体検査	ウイルス	5	617		1,623	2,245
		リケッチア	1			1	2
		クラミジア・マイコプラズマ					
病原微生物の動物試験				1		1	
原虫・寄生虫等	原虫			91		91	
	寄生虫			91		91	
	そ族・節足動物			4,146		4,146	
	真菌・その他						
食中毒	病原微生物検査	細菌	966	9		975	
		ウイルス	1,058			1,058	
		核酸検査	830		515	1,345	
	理化学的検査						
	動物を用いる検査			12		12	
	その他		1			1	
	臨床検査	血液検査(血液一般検査)					
血清等検査		エイズ(HIV)検査				383	383
		HBs抗原、抗体検査				383	383
		その他				12	12
生化学検査		先天性代謝異常検査					
		その他					
尿検査		尿一般					
		神経芽細胞腫					
		その他			4	135	139
アレルギー検査(抗原検査・抗体検査)					138	138	
その他					62	62	
食品等検査	微生物学的検査		2,911	75		2,986	
	理化学的検査(残留農薬・食品添加物等)		1,120	293		444	1,857
	動物を用いる検査		20	18	1	39	
	その他						
(上記以外)細菌検査	分離・同定・検出		193	3	342	101	639
	核酸検査		239	15	443	99	796
	抗体検査		3			3	6
	化学療法剤に対する耐性検査		197	14	156	575	942
医薬品・家庭用品等検査	医薬品			97	8		105
	医薬部外品			18			18

表 1.16 (2) 衛生検査実施件数

		依頼によるもの				依頼によらないもの	計	
		住民	保健所	保健所以外の行政機関	その他(医療機関、学校、事業所等)			
医薬品・家庭用品等検査	化粧品			10			10	
	医療機器			10			10	
	毒劇物							
	家庭用品			201			201	
	その他			21		1	22	
栄養関係検査								
水道等水質検査	水道原水	細菌学的検査						
		理化学的検査			116		116	
		生物学的検査				48	48	
	飲用水	細菌学的検査				7	16	23
		理化学的検査			205		16	221
	利用水等(プール水等を含む)	細菌学的検査			4			4
理化学的検査				2			2	
廃棄物関係検査	一般廃棄物	細菌学的検査						
		理化学的検査						
		生物学的検査						
	産業廃棄物	細菌学的検査					1	1
		理化学的検査						
		生物学的検査						
環境・公害関係検査	大気検査	SO ₂ ・NO ₂ ・OX等				397	397	
		浮遊粒子状物質				79	14	93
		降下煤塵						
		有害化学物質・重金属等				25	104	129
		酸性雨						
		その他					27	27
	水質検査	公共用水域			3		54	57
		工場・事業場排水			1		93	94
		浄化槽放流水					157	157
		その他			1		6	7
	騒音・振動							
	悪臭検査							
	土壌・底質検査							
	環境生物検査	藻類・プランクトン・魚介類						
その他					7	10	17	
一般室内環境		2		13		106	121	
その他						1,257	1,257	
放射能	環境試料(雨水・空気・土壌等)			495			495	
	食品			3			3	
	その他			32			32	
温泉(鉱泉)泉質検査								
その他				37		30	67	
総計		2	8,137	7,986	1,676	10,837	28,638	

9. 調査、研究実施状況

表 1.17 (1) 通常研究、開発研究

感染症部				
課	研究課題	研究者	共同研究	備考
細菌課	腸管感染症および類似疾患における細菌学的研究	勢戸和子 田口真澄 原田哲也	宮崎大学	
細菌課	細菌性呼吸器感染症に関する調査研究	勝川千尋 河原隆二 田丸重貴		
細菌課	結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	田丸重貴 河原隆二 勝川千尋		
細菌課	細菌性食中毒に関する研究	川津健太郎 神吉政史 坂田淳子 原田哲也		
細菌課 食品化学課*	食品内で産生される細菌毒素に関する研究	河合高生 神吉政史 余野木伸哉 山口瑞香*		
細菌課 ウイルス課*	食中毒原因物質としてのノロウイルスに関する研究	依田知子 神吉政史 山崎謙治* 左近直美* 中田啓子*		
細菌課	真菌及び魚介毒に関する研究	川津健太郎 坂田淳子 久米田裕子		
ウイルス課	腸管感染性ウイルスに関する研究	山崎謙治 左近直美 中田恵子		
ウイルス課	ウイルス性呼吸器感染症の研究	森川佐依子 廣井 聡 加瀬哲男	大阪市大	
ウイルス課	麻疹・風疹等の発疹を主徴とするウイルス感染症に関する研究	倉田貴子 宮川広実 加瀬哲男 高橋和郎		
ウイルス課	衛生動物を介する感染症に関する研究	弓指孝博 青山幾子		
ウイルス課	HIVおよびその他の性感染症に関する研究	森 治代 川畑拓也 小島洋子 西村公志	そねぎき古 林診療所 他	
ウイルス課 生活環境課* 企画調整課**	原虫・寄生虫症に関する研究	倉田貴子 枝川亜希子* 木村明生**		
ウイルス課 細菌課*	ヒトヘルペスウイルスに関する研究	宮川広実 依田知子*	阪大病院	研究終了

表 1.17 (2) 通常研究、開発研究

衛生化学部

課	研究課題	研究者	共同研究	備考
食品化学課	食品添加物等に関する衛生学的研究	阿久津和彦 柿本幸子 吉光真人 粟津 薫 野村千枝 山口瑞香 清田恭平		
食品化学課	食品中の残留農薬に関する研究	高取 聡 北川陽子 柿本幸子 小阪田正和 福井直樹 中辻直人		
食品化学課	食品中に残留する微量有害物質に関する研究	起橋雅浩 小西良昌 小阪田正和 柿本健作 永吉晴奈 内田耕太郎 山口貴弘 山口瑞香		
食品化学課	母乳中の残留性有機汚染物質 (POPs) とその代謝物に関する研究	小西良昌 阿久津和彦 柿本健作 永吉春奈 山口貴弘		
食品化学課	遺伝子組換え食品に関する研究	吉光真人 清田恭平 阿久津和彦		
食品化学課	内分泌かく乱化学物質に関する研究	高取 聡 北川陽子		
食品化学課	加工食品中の特定原材料の分析法開発および実態調査	清田恭平 阿久津和彦 吉光真人		
薬事指導課	医薬品等の品質確保及び健康被害防止に関する研究	沢辺善之 岡村俊男 梶村計志 川口正美 田上貴臣 梶月由香 土井崇広 中村暁彦		
薬事指導課	生薬・漢方製剤に関する研究	田上貴臣 川口正美 沢辺善之 梶村計志 中村暁彦		
薬事指導課	化粧品に配合されるホルムアルデヒドドナー型防腐剤に関する研究	梶村計志 土井崇広 田上貴臣		
薬事指導課 生活環境課*	薬局等における残薬等の廃棄方法の実態調査	岡村俊男 味村真弓*		
薬事指導課	健康食品中に違法に配合される乾燥甲状腺中の甲状腺ホルモンの分析法の開発	沢辺善之 田上貴臣 山崎勝弘		開発研究 終了

表 1.17 (3) 通常研究、開発研究

衛生化学部

課	研究課題	研究者	共同研究	備考
生活環境課 食品化学課*	水道水の安全性に関する研究	田中榮次 中島孝江 吉田俊明 小泉義彦 高木総吉 吉田 仁 安達史恵 宮野啓一 小西良昌 他3名*		
生活環境課	小規模分散型生活排水処理システムに関する研究	中野 仁 奥村早代子		
生活環境課	環境微生物に関する調査研究	肥塚利江 枝川亜希子 東恵美子		
生活環境課	環境放射能および環境放射線の測定	肥塚利江 東恵美子 大山正幸 足立伸一		
生活環境課	住居と職場における有害化学物質への曝露状況と健康影響に関する研究	吉田俊明 吉田 仁		
生活環境課	家庭用品に関する衛生学的研究	中島晴信 味村真弓	国立医薬食 品衛生研究 所,国立環境 研究所等	
生活環境課 ウイルス課*	大気汚染および住環境による健康影響に関する研究	中島孝江 東恵美子 大山正幸 西村公志*	大阪府立大 学 他6施 設	
生活環境課	マウスに対する界面活性剤吸入の生体影響について	中島孝江 東恵美子		開発研究 終了

表 1.18(1) 受託研究、共同研究

研 究 課 題	所 属	研究者
イムノクロマト法による食品からの食中毒原因菌の簡便迅速な検出試薬のキット化に関する研究	細菌課	川津健太郎
簡易測定手法を利用した熊本県における麻痺性貝毒モニタリング調査	細菌課	川津健太郎
休眠結核菌に関する研究	細菌課	田丸亜貴 河原隆二
クレベリン L の結核菌に対する抗菌作用について	細菌課	田丸亜貴
病原性大腸菌のゲノム多様性と病原機構に関する研究	細菌課	勢戸和子
感染症起因菌・ウイルス迅速検査に関する研究	ウイルス課 細菌課	高橋和郎 加瀬哲男 久米田裕子

表 1.18(2) 受託研究、共同研究

研 究 課 題	所 属	研究者
パンデミックワクチンの有効性評価に関する研究	ウイルス課	高橋和郎 加瀬哲男 廣井 聡
SmartAmp法を用いたインフルエンザウイルスの検出と臨床への応用に関する研究	ウイルス課	高橋和郎 加瀬哲男
乳酸菌発酵液によるウイルス感染予防効果の検証	ウイルス課	高橋和郎 西村公志
Lactococcus lactis subsp.cremoris FC株の新型インフルエンザウイルス感染防御作用に関する研究	ウイルス課	高橋和郎 西村公志
免疫グロブリン製剤に含まれる抗インフルエンザH I抗体価と中和抗体価の関係についての研究	ウイルス課	高橋和郎
ココアの抗インフルエンザウイルス効果の解析	ウイルス課	高橋和郎
食品素材によるウイルス感染予防効果の検証	ウイルス課	高橋和郎
H5トリインフルエンザ迅速診断試薬の開発	ウイルス課	高橋和郎
市中におけるインフルエンザウイルス株の分離・培養及び提供と市中分離株の薬剤感受性試験	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡 山崎謙治
インフルエンザウイルス迅速診断キットの性能評価に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡 倉田貴子
インフルエンザ検査薬の反応性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡
インフルエンザキットにおけるインフルエンザ株反応性の検討	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡
インフルエンザ迅速診断試薬の開発研究	ウイルス課	加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡
木材炭化物のインフルエンザウイルスに対する吸着効果に関する研究	ウイルス課 企画調整課	加瀬哲男 廣井 聡 赤阪 進
ソフトコンタクトレンズ消毒剤の有効性に関する研究	ウイルス課	加瀬哲男
エタノール及びベンザルコニウム塩化物を主成分とする消毒薬のウイルス不活化効果の評価に関する研究	ウイルス課	山崎謙治 西村公志 中田恵子
オゾン水を用いたインフルエンザウイルスの不活性化に関する研究	ウイルス課	山崎謙治 西村公志 中田恵子
大阪府全域におけるノロウイルス流行調査	ウイルス課	左近直美 加瀬哲男 中田恵子
抗がん剤によって発現した手足症候群に対するアロプリノール製剤の治療効果について	薬事指導課	皐月由香 沢辺善之 山崎勝弘
環境中における医薬品類および耐性菌の実態調査	生活環境課	足立伸一 安達史恵
排水処理施設の効率的改造に向けた微生物付着担体の選定試験	生活環境課	中野 仁 奥村早代子
浄化槽面整備後の地域水環境への影響評価	生活環境課	中野 仁 奥村早代子

表 1.19 文部科学省科学研究費補助金による研究

研究種目	研究課題	所属	研究者
基盤研究B	エジプトの鳥インフルエンザウイルスH5N1の疫学調査とそのウイルス学的研究*	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
基盤研究B	わが国で捕集される黄砂がラット呼吸器に及ぼす影響と付着成分との関連に関する研究*	生活環境課	大山正幸
基盤研究C	HIV-1 SUPERINFECTIONの簡便な検出法の開発	ウイルス課	森 治代
基盤研究C	抗結核作用を有するポリフェノールの探索と同定および作用機作の解析*	細菌課	田丸亜貴
基盤研究C	迅速かつ簡便な加工食品中の残留農薬一斉分析法の開発	食品化学課	高取 聡
基盤研究C	化粧品に配合する防腐剤から遊離するホルムアルデヒドの挙動と健康リスクに関する研究	薬事指導課	梶村計志
基盤研究C	日常生活下の子どもにおける殺虫剤、可塑剤及び難燃剤への曝露とその吸収量の評価	生活環境課	吉田俊明
基盤研究C	抗がん剤の職業被曝に対する生物学的指標の開発	生活環境課	吉田 仁
挑戦的萌芽研究	環境カビに由来する新しいハザード”ファンガル・ダスト”の存在と役割	細菌課	久米田裕子
挑戦的萌芽研究	新型インフルエンザに対する迅速診断法の開発	ウイルス課	西村公志
挑戦的萌芽研究	室内と屋外の亜硝酸濃度と喘息症状との関連性に関する疫学的研究	生活環境課	大山正幸
研究活動 スタート支援	日本で分離頻度が比較的高いサルモネラ属菌3血清型を対象とする分子疫学解析法の開発	細菌課	原田哲也
若手研究B	肺炎球菌ワクチン（PCV-7）の導入により、新たな流行クローンは出現するのか？	細菌課	河原隆二
若手研究B	RT-LAMP法を用いたアルボウイルスの網羅的検索	ウイルス課	青山幾子
若手研究B	小児呼吸器感染症に伴う中耳炎の原因微生物の同定に関する研究	ウイルス課	倉田貴子
若手研究B	亜硫酸処理による食品中DNAへの影響の解析	食品化学課	吉光真人
若手研究B	水酸化PCBによる母乳汚染の実態と経年的暴露影響に関する研究	食品化学課	柿本健作
若手研究B	口腔アレルギー症候群におけるアレルゲン定量法の確立	食品化学課	清田恭平
若手研究B	市場に流通する全ての漢方薬を対象とする残留農薬の分析	薬事指導課	田上貴臣
若手研究B	アメーバ共培養法を応用した培養不能レジオネラの検出と浴槽水汚染実態の解明	生活環境課	枝川亜希子

* は分担研究

表 1.20 厚生労働科学研究費補助金、環境省科学研究費補助金、その他の研究助成金による研究

研究課題	所属	研究者	補助金等事業者名
地方衛生研究所における網羅的迅速 ー検査法の確立とその精度管理の実施及 び疫学機能の強化に関する研究ー	副 所 長	高橋和郎	厚生労働省科学研究費補助金 健康安全・危機管理対策総合研究事業
食品由来感染症調査における分子疫学手 法に関する研究	細 菌 課	勢戸和子	厚生労働省科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染 症研究事業
薬剤耐性食中毒菌に係る解析技術の開発 及びサーベイランスシステムの高度化に 関する研究	細 菌 課	田口真澄	厚生労働省科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業
インフルエンザ及び近年流行が問題と なっている呼吸器感染症の分析疫学研究	ウイルス課	加瀬哲男	厚生労働省科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染 症研究事業
エンテロウイルス感染症制御のための診 断・予防治療に関する国際連携研究	ウイルス課	山崎謙治	厚生労働省科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染 症研究事業
インフルエンザ及び近年流行が問題と なっている呼吸器感染症の分析疫学研究	ウイルス課	中田恵子	厚生労働省科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染 症研究事業
HIV検査相談体制の充実と活用に関する 研究	ウイルス課	川畑拓也	厚生労働省科学研究費補助金 エイズ対策研究事業
検査機関の信頼性確保に関する研究	衛生化学部	尾花裕孝	厚生労働省科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業
人口減少とインフラ老朽化時代における 生活排水処理システムの持続的マネジメ ント戦略	生活環境課	奥村早代子	環境省循環型社会形成推進科学研究費 補助金
コンポスト施用の安全性と有効性の微生 物学的評価法の確立	生活環境課	足立伸一 中野 仁 安達史恵 依田知子 余野木伸哉	環境省循環型社会形成推進科学研究費 補助金
食品衛生法に関わる食中毒起因、新規候 補ウイルスの探索	ウイルス課	山崎謙治	(財)政策医療振興財団研究助成金
ダイエット用健康食品に違法配布される 高極性医薬品成分の新規迅速分析法の検 討	薬事指導課	中村暁彦	大同生命研究助成

10. 組換え DNA 実験、安全実験室の運用

表 1.21 組換え DNA 実験実施状況

実 験 ・ 研 究	レベル	所 属	研究者
小児呼吸器感染症における起因病原微生物の包括的同定に関する研究	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
急性髄膜炎および脳炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
食中毒および感染性胃腸炎の病原微生物に対する迅速診断法の開発と性能評価	B1/P2	副所長兼 感染症部長	高橋和郎
腸管感染症起因菌診断のための遺伝子検査法に関する研究	B1/P2	細菌課	勢戸和子
ノロウイルス ^{ノロウイルス} ・シト ^{シト} の大腸菌・カバ ^{カバ} クター・バ ^バ キテロウイルスでの発現とノロウイルス cDNA 全長の哺乳動物細胞での発現	B1/P2	細菌課	依田知子
ボツリヌス毒素の高感度検出法の開発	B1/P2	細菌課	河合高生
腸炎ビブリオの易熱性溶血毒の大腸菌での発現	B1/P2	細菌課	川津健太郎
呼吸器系病原細菌における病原性および薬剤耐性に関する研究	B1/P2	細菌課	河原隆二
<i>Aspergillus flavus</i> におけるアフラトキシン産生の転写レベルでの発現制御機構の解析	B1/P2	細菌課	坂田淳子
ウエルシュ菌毒素の研究	B1/P2	細菌課	余野木伸哉
ウイルス性呼吸器感染症の研究	B1/P2	ウイルス課	加瀬哲男
ウイルス性胃腸炎に関する研究	B1/P2	ウイルス課	山崎謙治
ヘルペスウイルス感染症の核酸診断のための研究	B1/P2	ウイルス課	宮川広実
ウイルス性胃腸炎原因ウイルスならびに肝炎ウイルス遺伝子のクローニング	B1/P2	ウイルス課	左近直美
ヒト免疫不全ウイルス (HIV) および その他の性感染症に関する研究	B1/P2	ウイルス課	小島洋子
衛生動物を介する感染症の研究	B1/P2	ウイルス課	青山幾子
病原性原虫および自由生活性アメーバに関する研究	B1/P2	ウイルス課	倉田貴子

表 1.22 安全実験室の使用状況

実験・研究	使用した病原体	レベル	所属	研究者
B S L 3 の病原細菌を原因とする問題発生時における菌の検索、同定、解析	炭疽菌 ブルセラ属菌	レベル 3	細菌課	久米田裕子 勢戸和子 勝川千尋 田口真澄 田丸亜貴 河原隆二 原田哲也
チフス菌、パラチフス A 菌の薬剤感受性試験および血清診断用抗原作製	チフス菌 パラチフス A 菌	レベル 3	細菌課	田口真澄 勢戸和子 原田哲也
結核菌および非結核性抗酸菌に関する研究	結核菌 牛型結核菌	レベル 3	細菌課	田丸亜貴 河原隆二
休眠結核菌に関する研究	結核菌	レベル 3	細菌課	田丸亜貴 他、所外研究者
HIV およびその他の性感染症に関する研究	ヒト免疫不全ウイルス 1 型(HIV-1) ヒト免疫不全ウイルス 2 型 (HIV-2) ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型 (HTLV-1)	レベル 2、3	ウイルス課	森 治代 川畑拓也 小島洋子
衛生動物を介する感染症に関する研究	ハンタウイルス (ハンタンウイルス、ソウルウイルス) 恙虫病リケッチア 紅斑熱群リケッチア Q 熱コクシエラ ウエストナイルウイルス チクングニヤウイルス	レベル 3	ウイルス課	弓指孝博 青山幾子
ウイルス性呼吸器感染症の研究	SARS 関連コロナウイルス 高病原性鳥インフルエンザウイルス 新型インフルエンザウイルス	レベル 3	副所長 ウイルス課	高橋和郎 加瀬哲男 森川佐依子 廣井 聡

11. 所内研究発表会、公開セミナー

表 1.23 所内研究発表会

年月日	セミナー/講演	司会/座長	テーマ	講演者
H22.7.30	創立記念50周年 特別講演会	挨拶： 織田 肇 (所長)		
		高橋和郎	感染症の変遷と公衆衛生研究所	奥野良信 (阪大微生物病研究会 観音寺研究所長)
H22.9.27	第184回 公衛研セミナー	田口修三	ホルムアルデヒドドナー型防腐剤ジアゾ リジニル尿素とその分解物について	土井崇広 (薬事指導課)
		足立伸一	家庭用品に含有されるトリブチルスズ、 トリフェニルスズの分析法 ー公定分析法の改定にむけてー	中島晴信 (生活環境課)
		高橋和郎	大阪府における新型インフルエンザ対応 について ～一年を振り返って～	加瀬哲男 (ウイルス課長)
H22.11.25	第185回 公衛研セミナー	足立伸一	大阪府の水道原水におけるクリプトスポ リジウム等の存在状況とその遺伝子型	肥塚利江 (生活環境課)
		尾花裕孝	日本人のフタル酸エステル類の暴露状況 の解析	高取 聡 (食品化学課)
		加瀬哲男	ヘルペスウイルスの先天感染症	宮川広実 (ウイルス課)
H23.2.3	第186回 公衛研セミナー	久米田裕子	多様化・高度化する薬剤耐性菌の現状に ついて	河原隆二 (細菌課)
		久米田裕子	食品中の志賀毒素産生性大腸菌の増菌培 養条件についての検討	神吉政史 (細菌課)
		足立伸一	抗原経皮吸収における非イオン界面活性 剤塗布の影響	中島孝江 (生活環境課)
H23.3.24	第187回 公衛研セミナー	足立伸一	水環境と微生物	土井 均 (生活環境課)
			水質分析に携わって	田中栄次 (生活環境課)
		尾花裕孝	多次元クロマトグラフィーと光誘導化	田口修三 (薬事指導課長)
		木村明生	公衛研での研究 ー考えてきたことー	赤坂 進 (企画調整課)

表 1.24 公開セミナーの開催

日時	平成23年1月19日（水）14時～16時	
場所	大阪府病院年金会館 コンベンションルーム	
目的	保健衛生、健康意識の向上に役立つ知識をやさしく解説する 「第12回くらしのサイエンス講演会」として大阪市環境科学研究所と共催	
対象	大阪府民	
【プログラム】		
開会のあいさつ		大阪府立公衆衛生研究所 所長 織田 肇
講演		
1) 賢く「健康食品」を利用するには ～特定保健用食品とは～		大阪市立環境科学研究所 食品保健担当研究副主幹 萩原拓幸
2) 食の安全と安心 どちらが大切ですか？		大阪府立公衆衛生研究所 衛生化学部長兼食品化学課長 尾花裕孝
閉会のあいさつ		大阪市立環境科学研究所 企画担当課長 山本耕司
参加者	120 名	

12. 図書及び資料の刊行

表 1.25 図書及び資料の刊行

平成21年度購入図書	洋雑誌 5	和雑誌 1
蔵書数 (製本済み)	洋書 2,796	和書 4,894
	洋雑誌 6,320	和雑誌 2,118
資料の刊行	平成21年度大阪府立公衆衛生研究所年報 平成22年10月 (ISSN 0289-9809)	
	大阪府立公衆衛生研究所研究報告 No47 (PDF書類)	

